

建築学会東海支部 まちづくり講演会

2015年9月26日(土) 14:00～16:00

第一部 14:00～15:00 講演：講師 松原永季、真野洋介

第二部 15:00～16:00 講師を含めたグループ討議(ワールドカフェ方式)

なお、9月15日(火)～9月27日(日)は、まちづくり広場・東海2015

市民活動団体、行政、大学研究室等による建築・都市に関わる活動事例のパネル展示を行っており、26日13:00～14:00は展示団体による活動報告と表彰式があります

松原永季氏 (スタジオ・カタリスト代表)

講演タイトル：「路地・空き地・空き家再生のまちづくり

～神戸市・駒ヶ林地区の事例から～

講演概要：神戸市長田区南部に位置する駒ヶ林地区は、阪神・淡路大震災でも壊滅的な被害からは免れ、古くから続く漁村集落の特徴を残した路地のまちです。そして神戸市でも高齢化や人口減少、産業の空洞化の特に進んだ、課題の大きな木造密集市街地としても位置づけられています。この駒ヶ林地区で、まちづくり協議会・神戸市・専門家が一体となって進めてきた、路地・空き地・空き家の再生を図る現在進行形の試み（近隣住環境計画・まちなか防災空地・空き縁ネット）をご紹介し、密集市街地再生のあり方について、共に学ぶ場といたく考えております。

講師略歴

1990年 京都大学工学部建築学科 卒業

1992年 東京大学大学院工学研究科建築系 修了

同年 株式会社 いるか設計集団 入社

2000年 studio CATALYST 開設

2001年 株式会社 いるか設計集団 退社

2005年 有限会社スタジオ・カタリスト 設立

現在に至る



主な社会活動：NPO 法人神戸まちづくり研究所副理事長、兵庫県景観アドバイザー

主な著作：阪神・淡路大震災 震災復興が教えるまちづくりの将来(学芸出版社) 1998年

真野洋介氏（東京工業大学准教授）

講演タイトル：「もうひとつのまちづくりとフィールドデザイン」

講演概要：時間とともに積み重ねられてきた市街地では「住民参加」や「地域協働」のまちづくりを超えた「もうひとつのまちづくり」を考え、試行する時機を迎えています。

地域の持続可能性やプロジェクト・事業の組み立てなど、フィールドデザインを行う鍵となる部分について、広島県尾道市における空き家再生や宮城県石巻市の震災復興など、具体的な実践を通じて考えます。



講師略歴

- 1995年 早稲田大学理工学部建築学科卒業。
- 2000年 早稲田大学大学院理工学研究科博士課程修了
- 2000年 早稲田大学理工学総合研究センター客員講師
- 2001年 東京理科大学理工学部建築学科助手
- 2003年 東京工業大学大学院社会理工学研究科社会工学専攻准教授、博士(工学)。

主な社会活動：NPO 法人向島学会 理事、

(一社) ISHINOMAKI 2.0 理事（フリーペーパー石巻 VOICE 編集）

主な著作：「同潤会アパートメントとその時代」（鹿島出版会）1998年

復興まちづくりの時代—震災から誕生した次世代戦略（建築資料研究社）2006年

路地からのまちづくり（学芸出版社）2006年

復興まちづくり（丸善）2009年

まちづくり市民事業（学芸出版社）2011年

都市はなぜ魂を失ったか—ジェイコブズ後のニューヨーク論（講談社）2013年（翻訳）

会場：名古屋都市センター11階ホール（中区金山町1-1-1 金山南ビル）

主催：日本建築学会東海支部

共催：名古屋まちづくり公社名古屋都市センター

参加方法

9月23日までに、✉ machisemi@nui.or.jp宛

氏名、所属、連絡先を明記

※席に空きがあれば当日参加も可能です

